



ロスゴベルへの旅

難易度=6

アンドゥインの谷を旅する途中、英雄達は地に落ちた鷲に出会った。先日のゴブリンとの戦いで手ひどく傷つき、まさに死の淵にある状態だった。英雄達はその鷲を、闇の森の縁にあるロスゴベルまで運ぶことにした。そこなら魔法使いのラダガストが鷲の命を救えるだろう。

「ロスゴベルへの旅」(A Journey to Rhosgobel)の遭遇デッキは、以下の遭遇セットのすべてのカードを使用する:ロスゴベルへの旅(A Journey to Rhosgobel)、闇の森の蜘蛛(Spiders of Mirkwood)、ドル・グルドゥアのオーク(Dol Guldur Ores)。「ドル・グルドゥアのオーク」と「闇の森の蜘蛛」は、どちらも **The Lord of the Rings: The Card Game** の基本セット内カードである。)



味方・目的カード:ウィリヤドール

このシナリオでは、プレイヤーは“味方・目的”カードの鷲のウィリヤドール(Wilyador)と遭遇する。このカードは、「開始プレイヤーは、味方としてウィリヤドールのコントロールを得る。」という常時効果を持つ。これは、開始プレイヤーはウィリヤドールの支配を得て、それを自分がコントロールする味方と同様に使用できることを意味する。各ラウンドの終了時に、開始プレイヤートークンが新たなプレイヤーに渡される時、新たな開始プレイヤーはウィリヤドールのコントロールも得る。

ウィリヤドールにはさらに「付帯不可」というテキストがある。これは、プレイヤーはウィリヤドールに付帯をプレイしたり移動したりできないことを意味する。

何らかの理由でウィリヤドールが場を離れた場合、プレイヤーはゲームに敗北する。さらに、ウィリヤドールをコントロールしているプレイヤーが退場しても、プレイヤーはゲームに敗北する。

ゲームから取り除く

プレイヤーはシナリオ中に、カードをゲームから取り除くよう指示されることがある。カードがゲームから取り除かれる場合、それは脇に置かれ、残りのゲームの間無視される。ゲームから取り除かれたカードを捨て札パイルに置かないように注意。捨て札パイルからカードを戻すような効果は、取り除かれたカードには関わることはできない。

